

## お知らせ

平成 26 年 7 月 1 日より当財団の組織を見直しいたしましたので、お知らせいたします。

当財団は、日本におけるヒートポンプ蓄熱技術のナショナルセンターとしての役割を担うべく「国際部」を設け、ヒートポンプ・蓄熱システムの海外での普及に関する企画立案、情報収集、国内外への発信・ネットワークづくり等を行ってきました。

一方、「技術研究部」においても、IEA 蓄熱実施協定、及び IEA ヒートポンプ実施協定に参加することにより関連する国際研究活動を展開しており、ヒートポンプ蓄熱技術の国際研究活動を通して、ヒートポンプ蓄熱技術の国内及び海外への普及促進に努めてまいりました。

このような中、実際の業務においては、IEA との技術情報のやり取りや両実施協定の運営などで重複する業務も多く、相互連携することにより効率化が図れる業務が増えてきました。

そこで、「国際部」と「技術研究部」を統合して「国際・技術研究部」とすることにより、IEA 等国際機関への対応や実施協定の運営などでの、より効率的な組織運営を可能とするとともに、ヒートポンプ蓄熱技術分野での国際社会への発信力の強化をさらに目指してまいります。

### <組織図>

